



TOKYO
SHIMBASHI
ROTARY CLUB
JAPAN
2016/2017



国際ロータリー2750地区
東京新橋ロータリークラブ

A City Alive with Green and Water
街に緑と水を

WEEKLY REPORT



年次標語「みんなで繋ごう、奉仕の和」

1420号 2016/11/15

本日の卓話

「政治家に期待されていること
～親子断絶防止法を例に～」

前衆議院議員 三谷英弘様
(伊賀大祐会員ご紹介)



～～前回の卓話～～
第一生命経済研究所 主席エコノミスト
熊野英生様

「日本経済の展望～東京五輪までのわが国の経済を見通して」(小山正之会員ご紹介)

明日大勢を決するという大統領選挙。ここで考えることは2つ、一つはTPP、もう一つは為替です。

TPPは中国包囲網です。米国が中国の海洋進出、経済的な覇権を封じる策を絶対進めると思うのです。為替はどうか。たぶん日本の為替介入は許されない。過去の経験から、次の新しい大統領が就任したら景気がよくなり、FRBも利上げして、ドル高円安になる。アメリカの景気指数と日本の生産とかなり一致して動く。そういう意味ではアメリカが良くなると、貿易取引が活発化し、日本の製造業にも影響する。

次は個人消費のこと、これが本当に良くない。消費税を上げてから、消費がほとんどゼロ成長です。私は、いわゆる人口減少が来たのではないかと。横ばい経済の背信には、上向きの人口増加の力がなくなっただけでなく、消費者の顔ぶれが年金生活者の占める割合が大きくなった。勤労者の賃金は増えても、貯蓄率は上がっている。つまり、所得が増えた分、貯蓄に回してしまう。なぜでしょうか。まさしく将来不安です。年金です。今、女性の活躍と言われていますが、女性で働いているのは、55歳から69歳です。なぜ働いているかといえば、「旦那」の年金がもらえないから。もっと2020年は長い目で見てください。次は国際交流であり、貿易取引であり、観光などの交流です。オリンピックを契機にして日本と海外との交流が密になる。持続的な成長につなげていかなければならないです。

3つ目は、技術革新です。よくAIは人の王道を奪うなど、いろいろな妄言がありますが、人間の力をパワーアップするという新しいツールだと思います。

今日の話をもとめたいと思います。ヒラリーがなったとすると、為替の政策や貿易路線。でも製造業が浮き上がっても、年金問題が残る。個人消費は厳しいでしょう。これを補うには、グローバル化、イノベーションです。日本の製造業はすごいのですが、この技術を生活にどのように応用して便利になるか、この応用問題がすごく苦手なのです。皆様も第4次産業革命を身近に感じて、イノベーションを進めていかなければならない。国民の質もこのように変わっていくと、おそらく人口減少でも、日本は成長率を上げて行けるのではないかと。

未来の話、ちょっとだけいたしました。どうもご清聴ありがとうございました。

